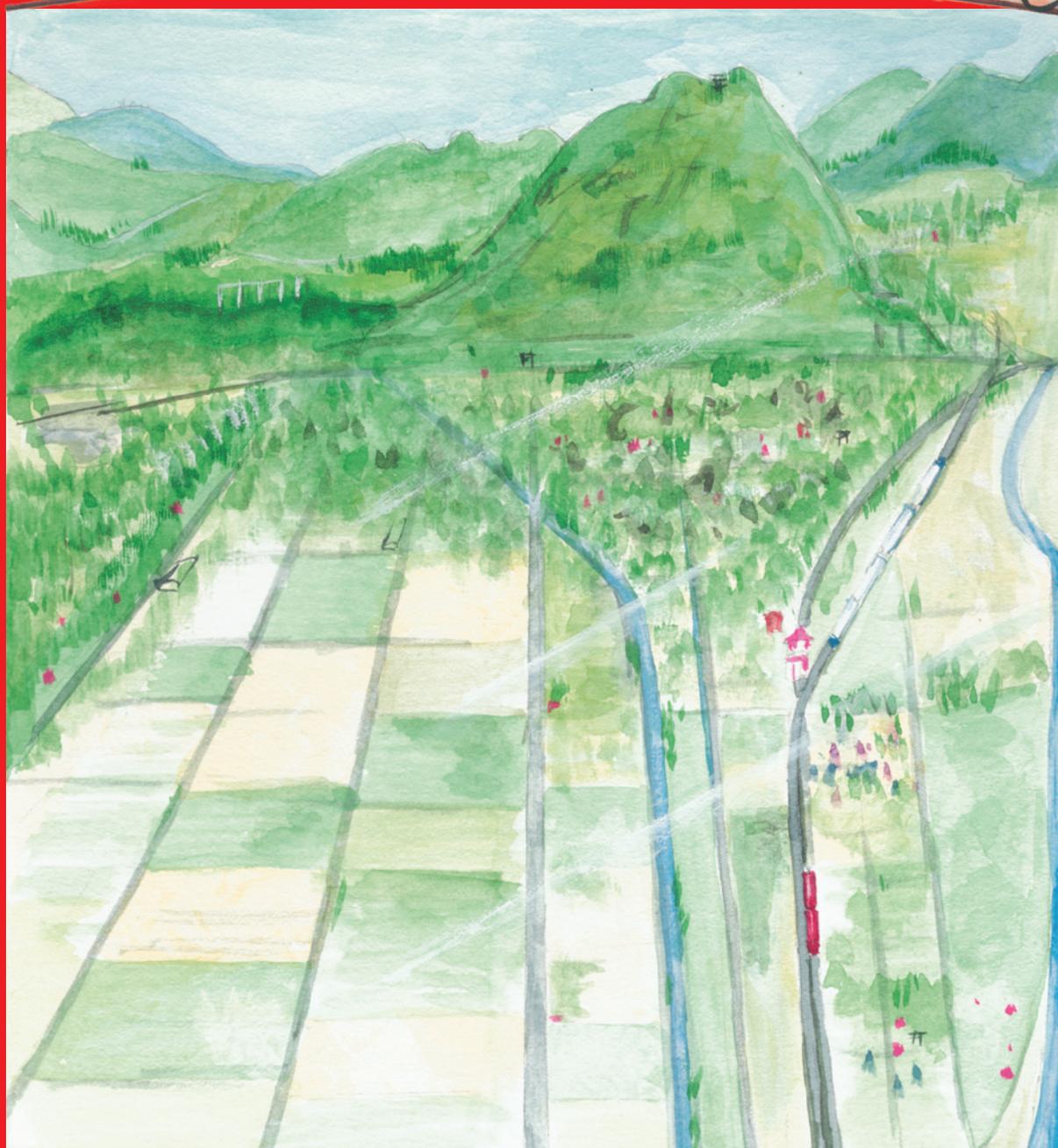


旭地区 まちづくり 推進計画

自然と伝統文化！
笑顔とおもいやいで
つながるまち



旭地区まちづくり推進協議会

旭地区まちづくり推進計画策定にあたり

旭地区まちづくり推進計画を刊行するにあたり、ご挨拶申し上げます。

鳥栖市の小学校区を単位とした旭地区において、住民による新しい地域自治組織として平成23年11月4日に「旭地区まちづくり推進協議会」が発足しました。

この自治組織は、地域の長所は活用し、課題の解決について地域の皆様で考え活動し、旭地区を「自然と伝統文化！笑顔とおもいやりでつながるまち」とすることを目標とし取り組んでいく組織です。

旭地区も既存の町区と新たにできた町区がある一方で、核家族化が進み人間関係の希薄化が進んでおり、これを契機に人間関係を再構築していくチャンスだと思えます。

ここに、旭地区まちづくり推進計画を策定し、10年後の将来像を見据えた活動を計画しました。

「自然と伝統文化！笑顔とおもいやりでつながるまち」として、旭地区に住んでよかったと思える地域にするための計画書です。

この計画を推進するには、地域に住む一人ひとりが、一人一役をめざし、皆様の趣味や特技を地域活動で発揮していただくことにより、実現するものと思っています。

推進計画策定にあたり、長い間ご審議いただいた皆様に、心から感謝いたします。

旭地区まちづくり推進協議会
会長 成清 哲央

表紙・裏表紙作者：北川アイ子さん（西田町在住）



旭地区に伝わる巨人伝説「ウシどん」が現在の旭地区を空から眺めていて、見守っていただいている様子です。時代は移り変わり、恐竜が現在の旭地区の家族の記念写真を撮っています。昔から現在、未来まで絆がつながっていくことを願います。

【巨人伝説：ウシどん】

昔、ウシどんという雲を突くような大男が、天秤棒の両方に山を担いで歩いていると、誤ってその山を落としてしまった。落ちた山は片方が朝日山（132.9m）で、もう一方が小郡市・筑前町の花立山（130.6m）となったが、そのためか2つの山は姿も形もよく似ている。また、踏ん張ってできた足跡が本町八坂神社の西側と秋葉町にあった沼になったという。

目 次

はじめに

- 1 旭地区はこんな地域！ ー現状と特徴・課題ー・・・・・・・・・・ P 3
- 2 こんな地域になったらいいね！・・・・・・・・・・ P 11
ー旭地区の将来像とまちづくりの基本方針ー
- 3 こんな地域にしていこう！ ーまちづくり戦略ー・・・・・・・・・・ P 13
- 4 こうやって取り組んでいこう！ ーまちづくりの推進体制ー・・・・・・・・ P 17

《参考資料》

- まちづくり推進計画策定までの経過・・・・・・・・・・ P 18
 まちづくり推進計画策定委員会 委員名簿・・・・・・・・ P 20
 優秀作品集・・・・・・・・・・ P 21



はじめに

旭地区まちづくり推進計画とは、地区の現状と課題を踏まえ、10年後（2022年度）の地区の将来像を明らかにした上で、その将来像を実現するために、地域づくりの基本計画を整理したものです。

具体的な取り組みとして、まずは地区の現状を把握するために、一部の世帯（500世帯）を対象としたアンケート調査や、試験的な取り組みとして、環境美化、交通安全活動をチャレンジ活動として実施しました。地域の現状としては、地域を特色づけるものとして写真で整理するとともに、旭地区の現況マップとしてまとめました。

次にアンケートを基に7つの主要課題を導き出し、この課題を解決するために、どんな地区をめざすのか、どんなことに取り組むべきかについて、将来像と5つのまちづくり目標に分けて整理しています。

まず、地区の10年後の将来像については、地区住民の心のよりどころとなる地区のシンボルを明らかにした上で、まちづくりのキーワードをあげ、将来像を整理しています。

次に、将来像をみんなの力で実現に導くために、5つのまちづくり目標に基づいて実施する9つの事業を掲げています。

最後に、このまちづくり推進計画は、旭地区の基本計画となるものです。推進計画実現のため、決して人任せにせず、地区住民が心を一つにし、一人一役をめざし、絆を深めあい、次世代の子どもたちが、「旭地区で育ち、住んで本当に良かった」といえるような、笑いの絶えない地域づくりをめざします。

なお、今後地域社会を取り巻く環境が大きく変化することも予想されますので、そうした急激な変化に対応するために、まちづくり推進計画を見直すことがあります。

計画の期間	2013年度（平成25年度）～2022年度（平成34年度）
-------	-------------------------------

1 旭地区はこんな地域！ ー現状と特徴・課題ー



(1) 旭地区の概要・歴史

旭地区は鳥栖市の南西部にあたり、西はみやき町中原・南西はみやき町北茂安と、南は宝満川・筑後川をはさんで福岡県久留米市と接しています。

旭地区の北にある朝日山は、石谷山麓下の平地にある標高 132.9mの小さな山です。360度の眺望がきく独立峰であり、どこからも見えるため旭地区だけではなく鳥栖市域のランドマークとなり、多くの歴史の舞台となっています。

春には桜の花見と新緑と鳥のさえずり、秋は観月と紅葉など、冬は40種類近い野鳥が飛びかう市民公園として、季節を通して多くの人々が訪れます。最近九州新幹線新鳥栖駅をながめる場所としても親しまれています。



朝日山の南麓には古代の道であり、江戸時代は長崎街道でもあり、昭和30年代までは山麓直下に、現在はやや南に下がった幹線道路の国道34号が通っています。朝日山は別名日隈山（ひのくまやま）とも呼ばれ、『肥前風土記』養父郡の「烽（のろし）一所」にあたります。朝日山の西側の烽は神埼市の日隈山で、北東の基肄城（きいじょう）火ノ尾から太宰府へと通信をつないでいました。

旭地区には古くから人が住みつき、村田町の村田三本松遺跡では古いものでは3000年前の集落と墓地が出てきており、お棺に使われた大きな壺形土器は朝鮮半島の影響を強く受けた作り方で、葬られたのは渡来人ではないかと言われています。およそ2000年前の弥生時代にはたくさんの人々が住んでいたようで、幸津町安良から村田町にかけては大量の甕棺墓（かめかんぼ）が出ています。また、江島町には弥生時代の青銅器をつくっていた鑄型（いがた）が12点も出てきた本行遺跡があり、すぐ近くの旧家の庭からも鑄型が発見され、この付近一帯は弥生時代の先端工業地だったと考えられます。

古代の『肥前風土記』には、景行天皇巡行のとき、この山（朝日山）に行宮（かりみや）をつくり四方を望むと眺望が良いことから、分明（さやけ）の村と言ひ、後になまって「狭山の郷」（さやまのさと）と言うようになったのが、旭地区にあたるだろうと言われています。また、広く平坦な場所には条里制がしかれ、古くから豊かな水田地帯であったことが想像できます。

侍が登場する時代（中世）になると村田の地名を名字とする武士がいて、九州探題（たんだい）から領地を認めるとする文献が残されています。また、この頃、朝日山に山城が築かれ、建武元年（1334）少弐資法（しょうにすけのり）が城を築き朝日氏を名乗り、戦国時代は筑紫氏勝尾城（かつのおじょう）の出城となります。

江戸時代は養父郡の西半分にあたるこの地区は、幸津・儀徳・村田・江島・下野・田出島・不動島村の7ヵ村があり、佐賀鍋島領本藩の蔵入地（くらいりち）・鍋島佐太夫家の私領や家臣の配分地でしたが、貞享元年（1684）に創設された村田鍋島家に村田・儀徳・江島村があてがわれています。

朝日山一帯には、村田鍋島家の鷹狩りをする場として、幕末にはいち早く取り入れた洋式軍隊の訓練の場とされています。明治7年（1874）の「佐賀の乱」の舞台となり、江藤新平が指揮する佐賀軍が朝日山に、政府軍が現在の鳥栖西中学校に陣地を構え、一大決戦の場となりました。

明治5・6年（1872・3）合併時は儀徳・江島・下野の3ヵ村に、明治22年（1889）の市町村制施行では養父郡旭村に、明治29年（1896）基肄郡・養父郡・三根郡で三養基郡となり、昭和29年（1954）に、他の4町村と合併し鳥栖市の一部となりました。

（鳥栖郷土研究会 藤瀬禎博さん）

《地域を特色づけるもの》



村田浮立



朝日山



沼川ジョギングロード



儀徳町天満神社（絵馬）



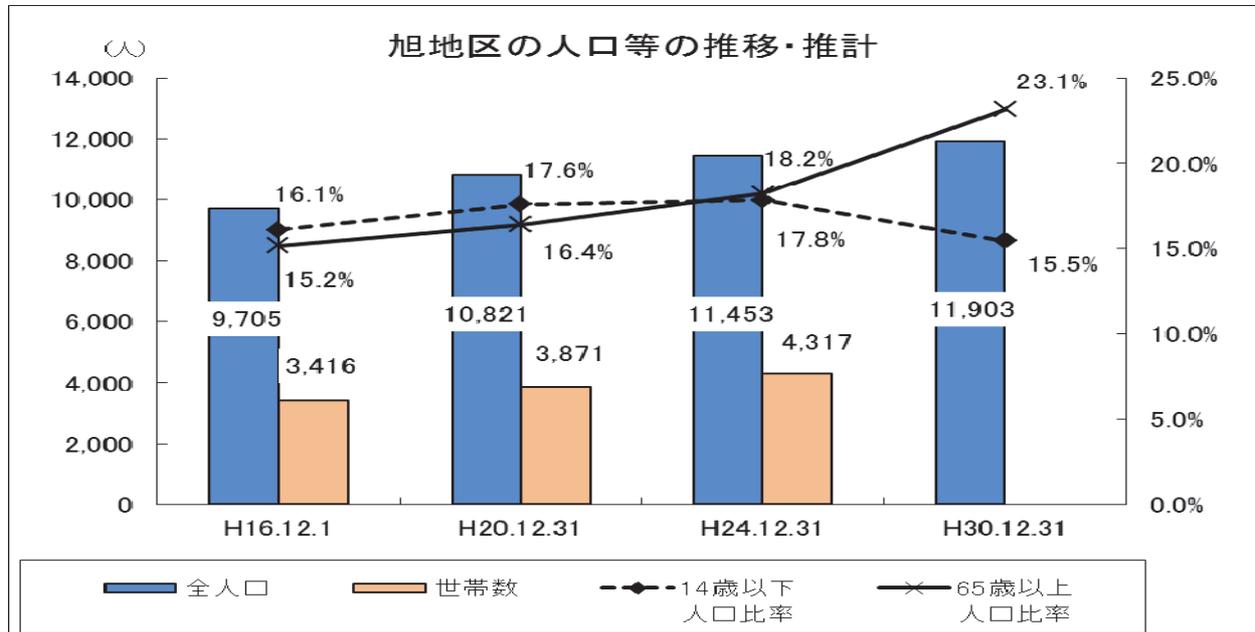
下野町水天宮



田園風景

(2) 旭地区の特性

①人口・世帯数など



※H30.12.31の数値は鳥栖市の推計による値

地区の人口は11,453人(平成24年12月末)で8年前に比べ1,748人増加しています。人口増の理由の一つに、あさひ新町の開発による人口増があげられます。

高齢化率は18.2%で、約5.5人に1人が65歳以上の高齢者となっていますが、行政区によっては既に3人に1人が65歳以上の高齢者となっており、推計では平成30年には旭地区全体でも、約4人に1人が高齢者になることが予想されます。

②行政区

旭地区には14の行政区があります。

江島町	村田町	西新町	儀徳町	前田町
幸津町	下野町	三島町	村田新町	競馬場団地
西田町	青葉台	あさひ新町	栈敷団地	

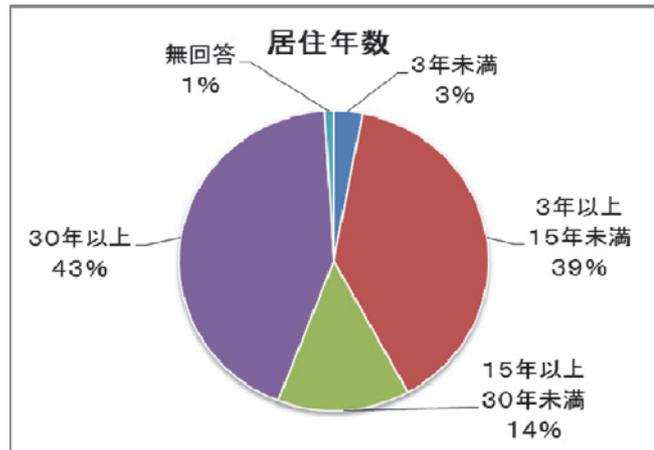


③アンケート結果から見える旭地区

旭地区の現状を把握するために、平成24年2月に一部の世帯を対象にアンケート調査を行いました。500世帯のうち433世帯から回答が得られ、回答率は約87%でした。以下では、アンケートの中から主要な質問を抽出し、その結果を紹介します。

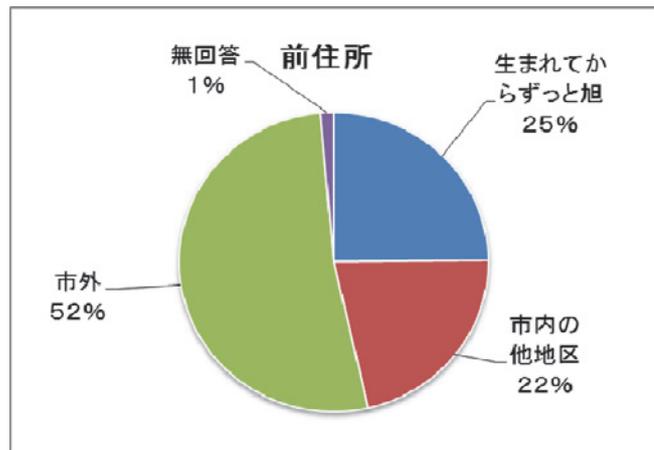
◆「地区内に住んで何年になりますか」という質問に対しては、「30年以上」が43%、「3年以上15年未満」が39%と年数が長い方と、比較的浅い方が概ね半々となっています。

古くから受け継がれる伝統を守っていくためには、新旧住民の交流を図ることが重要です。



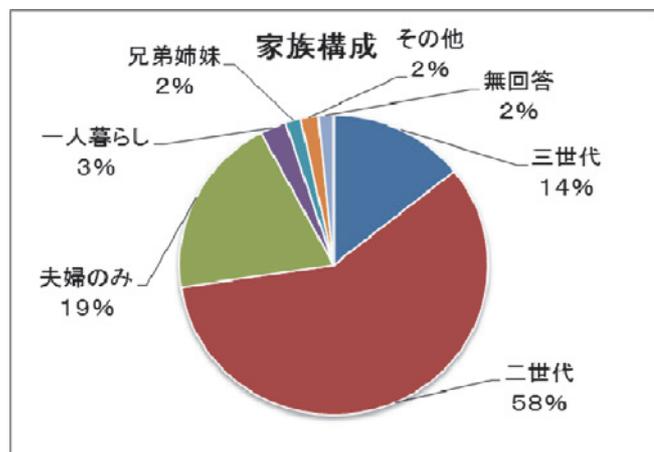
◆「ほかの場所から移住されましたか」という質問に対しては、「市外から移住してきた」「市内の他地区から移住してきた」を合わせると、74%を占めています。

前の項目と同様に、交流を深めながら、地域の良さを伝えていく必要があります。



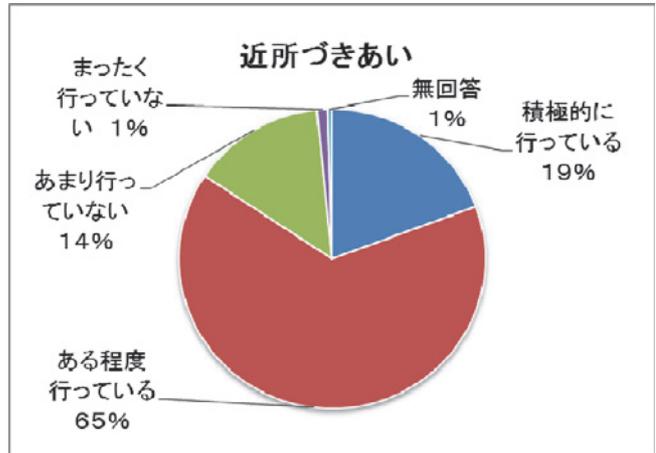
◆「家族構成について」という質問に対しては、「二世帯（親子）」が58%で半数を超えています。

核家族化が進み、高齢者世帯が増えることが予想されます。地域全体で見守る体制作りが必要になります。



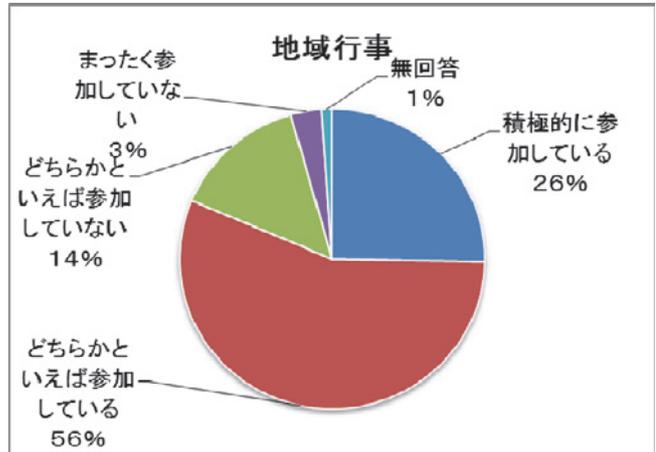
◆「近所づきあいをどの程度行っていますか」という質問に対しては、「ある程度つきあっている」が65%になっています。

更に近所づきあいを密にし、強い絆でつながるまちづくりが求められます。

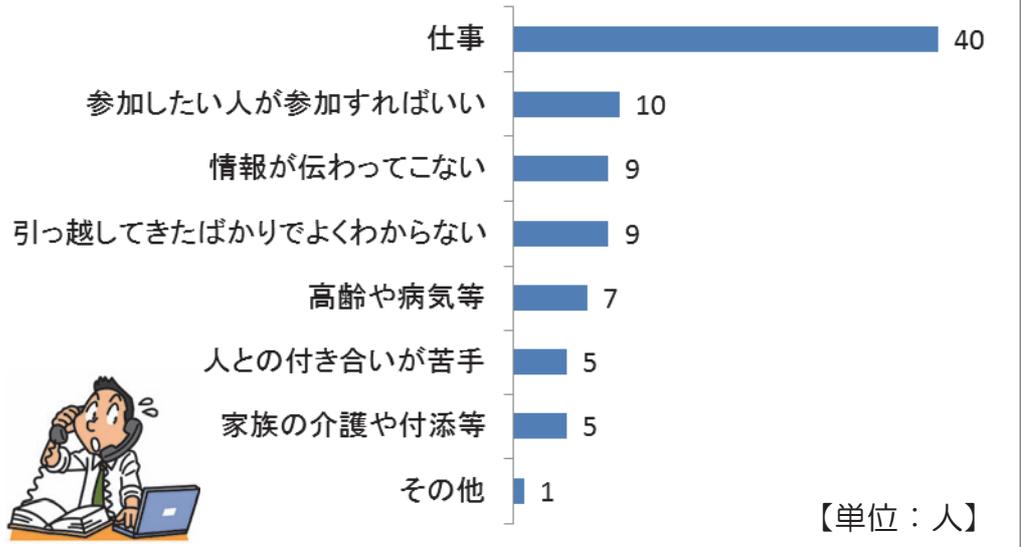


◆「地区や自治会などの地域行事にどの程度参加されていますか」という質問に対しては、「参加している」という方が82%、「参加していない」という方が17%になっています。

また、「参加していない」と回答された方の理由として「仕事」を理由にされた方が大半を占めています。



参加していない理由

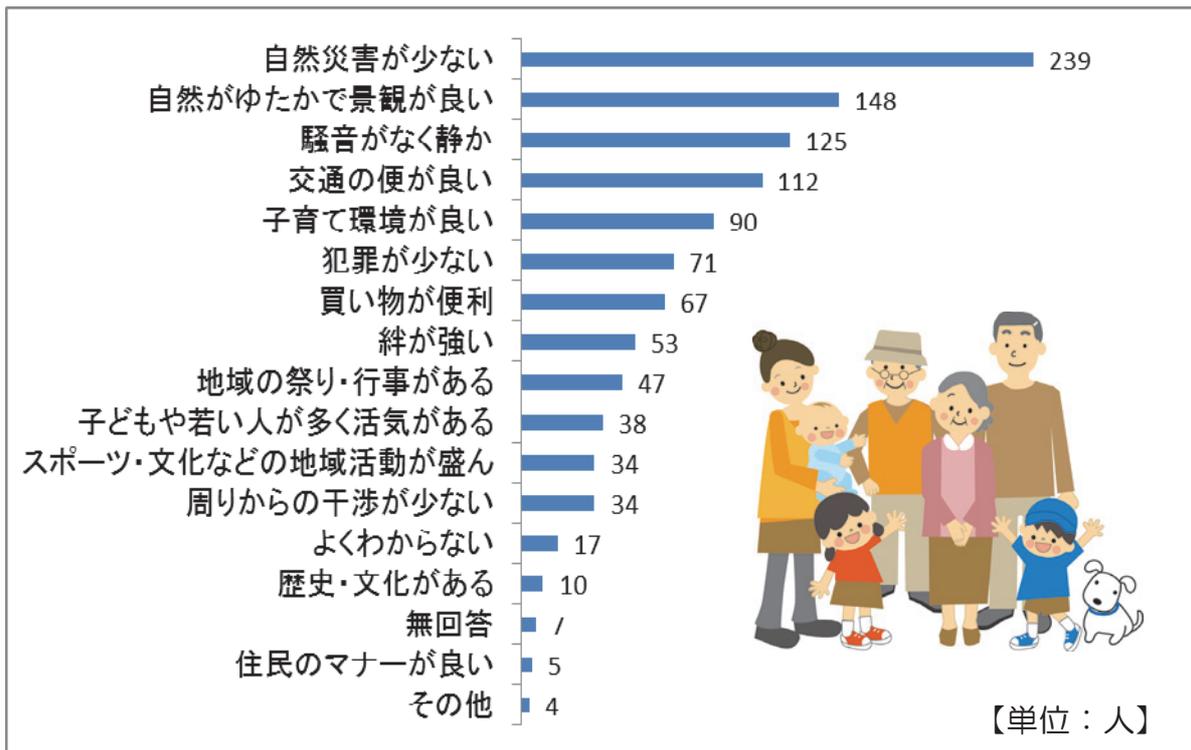


◆「地区の長所はどんなところですか」という質問に対しては、『自然災害が少ない』が最も多く、7割近くの方に選択されています。

2番目には、『自然がゆたかで景観が良い』、3番目には、『騒音がなく静か』となっております。旭地区が恵まれた自然環境にあることが分かります。

この恵まれた自然環境を次の世代に引き継いでいく必要があります。

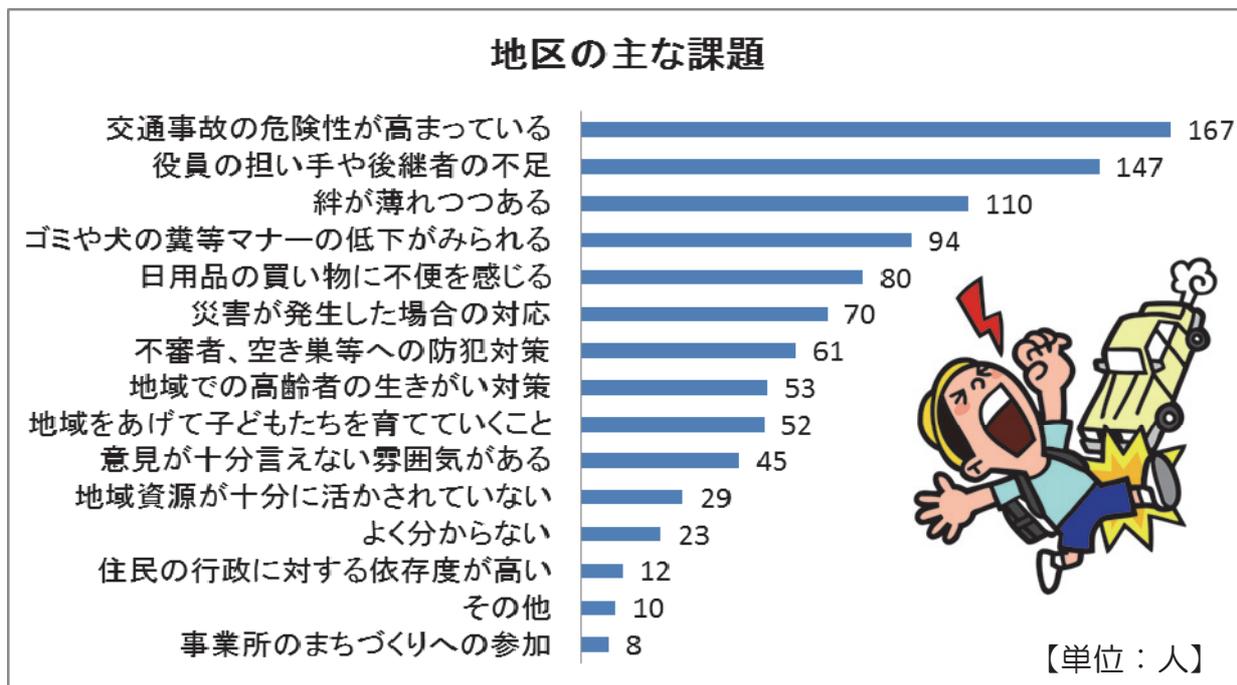
(複数回答)



◆「地区の主な課題は何でしょうか」という質問に対しては、『交通事故の危険性が高まっている』が最も多く、都市化に伴い交通の便が良くなった反面、このような結果がでています。

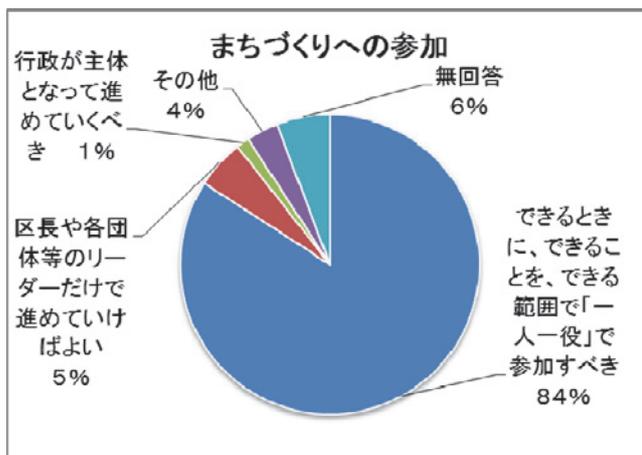
また、2番目に、『役員の担い手や後継者の不足』、3番目に、『絆が薄れつつある』となっており、コミュニティの希薄化が見てとれます。

地域課題について、私たち地域住民にできることを考え、活動を通して交流や人づくりを進める必要があります。



◆「一人一役によるまちづくりへの参加をどう思いますか」という質問に対しては、「できるときに、できることを、できる範囲で、一人一役で参加すべき」が84%を占めています。

一人ひとりの小さな力を合わせ、大きな力を生み出すことが期待されます。



(3) 旭地区の現況マップ

①旭まちづくり推進センター



②旭小学校



③肥前旭駅



④村田八幡神社



⑤村田の六地藏



⑥本行遺跡出土青銅器及び鋳型 (県重要文化財)



新鳥栖駅



⑦儀徳町天満神社



⑧下野町水天宮



⑨幸津町天満神社



⑩薬師如来坐像 (市重要文化財)



④肥前鳥居 (市重要文化財)



2 こんな地域になったらいいね！

－旭地区の将来像とまちづくりの基本方針－



(1) 旭地区の将来像

前述のアンケート結果と旭地区の特性をふまえ、めざしたいまちの姿と課題を検討すると、旭地区のまちづくりの将来像をあらわす言葉とそれを象徴するキーワードが導き出されました。そして、そのキーワードを具体的に展開するための5つのまちづくり目標を掲げました。

※将来像 **自然と伝統文化！笑顔とおもいやりでつながるまち**

【旭地区まちづくりキーワード】

- | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 安全・安心 | <input type="checkbox"/> 環境美化 | <input type="checkbox"/> 高齢者・福祉 |
| <input type="checkbox"/> 健康・スポーツ | <input type="checkbox"/> コミュニティ | <input type="checkbox"/> 伝統・文化・まなび |
| <input type="checkbox"/> 子ども・子育て | <input type="checkbox"/> 道路・交通 | <input type="checkbox"/> 買い物弱者 |
| <input type="checkbox"/> 災害対応（備え・避難） | <input type="checkbox"/> 防犯 | <input type="checkbox"/> 景観 |
| <input type="checkbox"/> 地域活性 | <input type="checkbox"/> 青少年育成 | <input type="checkbox"/> 生きがいづくり |

(2) まちづくりの目標

主要課題

まちづくり目標



【旭地区まちづくりイメージ図】



3 こんな地域にしていこう！ -まちづくり戦略-

将来像「**自然と伝統文化！笑顔とおもいやりでつながるまち**」の実現に向けた5つのまちづくり目標に基づいて、次のとおり旭地区では計9つの事業を実施していきます。

実施にあたっては、優先度を設けて、取り組んでいきます。事業スケジュールは P.16 にあります。

① みんなで助け合う安全・安心なまちづくり

構成団体の既存活動・事業

◇交通安全推進事業

- 交通安全教室・交通安全指導 ●登下校時の安全指導 ●見守り隊 など

◇防犯・防災事業

- 春・秋季火災予防週間 ●年末警戒 ●子ども110番の家 など



新たな活動・事業

◇交通安全推進事業

- 危険個所のマップ作成、活用 ●旭地区交通安全の日事業

◇防犯・防災事業

- 火災警報器設置の推進 ●避難訓練



② 自然と調和のとれたまちづくり

構成団体の既存活動・事業

◇環境美化事業

- 全国一斉社会奉仕 ●ペットボトルキャップ運動 など

◇景観向上事業

- 花壇整備・花いっぱい運動 など



新たな活動・事業

◇環境美化事業

- 旭クリーンアップ作戦 ●犬の糞対策

◇景観向上事業

- 家庭の庭木整理啓発



③健やかに暮らす生涯現役のまちづくり

構成団体の既存活動・事業

◇健康福祉事業

- いきいきサロン ●独居高齢者の見守り ●シルバーヘルパー活動
- 生活介護等の相談支援 ●ふれあい会食会 ●健康料理教室
- 見守りネットワーク ●男の料理教室 ●親子料理教室 など

◇スポーツ推進事業

- 球技大会 ●マラソン大会 ●春季・秋季ふれあいウォーキング
- 青壮年野球大会 ●ニュースポーツ教室ふらばーるボールバレー大会
- ソフトボール大会 ●グラウンドゴルフ大会 ●旭地区市民体育大会
- ゲートボール大会 ●新年歩こう会
- 子どもと大人のグラウンドゴルフ大会 など



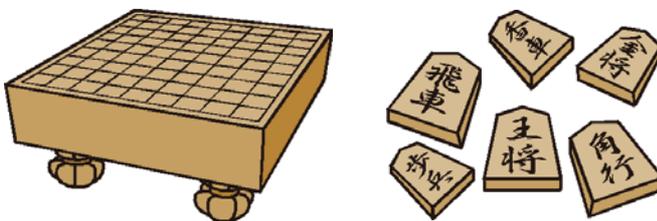
新たな活動・事業

◇健康福祉事業

- 囲碁将棋大会

◇スポーツ推進事業

- 旭地区市民体育大会の拡充



④一人一役みんなで支え合うまちづくり

構成団体の既存活動・事業

- ◇ふれあい交流事業
 - 旭地区文化祭 ●旭地区盆踊り大会 ●ふれあい会 など
- ◇地域貢献推進事業
 - 市民ボランティアの日 ●子どもボランティアの日 ●ベルマーク運動
 - 西中ボランティア活動 ●旭小愛校作業 ●家庭科ボランティア
 - 食育ボランティア ●朝読書ボランティア など



新たな活動・事業

- ◇地域貢献推進事業
 - 人材バンク・資源バンク

⑤心豊かな「旭っ子」を育むまちづくり

構成団体の既存活動・事業

- ◇地域子育て事業
 - 卒業記念お別れ会 ●アタックおやつ作り教室 ●ハッピー子育て料理教室
 - 夏休み料理教室 ●オアシス運動・あいさつ運動 ●ナイトウォーク
 - 夏休み夜の巡回指導 ●サマースクール
 - 旭小親子レクリエーション（しめ縄作り・もちつき） など



新たな活動・事業

- ◇地域子育て事業
 - 子どもの居場所づくり支援事業

旭地区まちづくり推進計画一覧表

目標	事業名等	短期	中期	長期	担当部会名
		H25~H27	H28~H31	H32~H34	
みんなで助け合う 安全・安心な まちづくり	交通安全推進事業	●————→			安全・環境 美化部会
	・危険個所のマップ作成、活用		●————→		
	・旭地区交通安全の日事業	●————→			
	防犯・防災事業	●————→			
	・火災警報器設置の推進	●————→			
	・避難訓練		●————→		
自然と調和のとれた まちづくり	環境美化事業	●————→			安全・環境 美化部会
	・旭クリーンアップ作戦	●————→			
	・犬の糞対策		●————→		
	景観向上事業	●————→			
	・家庭の庭木整理啓発			●————→	
健やかに暮らせ 生涯現役の まちづくり	健康福祉事業	●————→			健康福祉部会
	・囲碁将棋大会		●————→		
	スポーツ推進事業	●————→			
	・旭地区市民体育大会の拡充		●————→		
一人一役 みんなで支え合う まちづくり	ふれあい交流事業	●————→			地域教育部会
	地域貢献推進事業	●————→			
	・人材バンク	●————→			
	・資源バンク	●————→			
心豊かな「旭っ子」 を育むまちづくり	地域子育て事業	●————→			地域教育部会
	・子どもの居場所づくり支援事業	●————→			

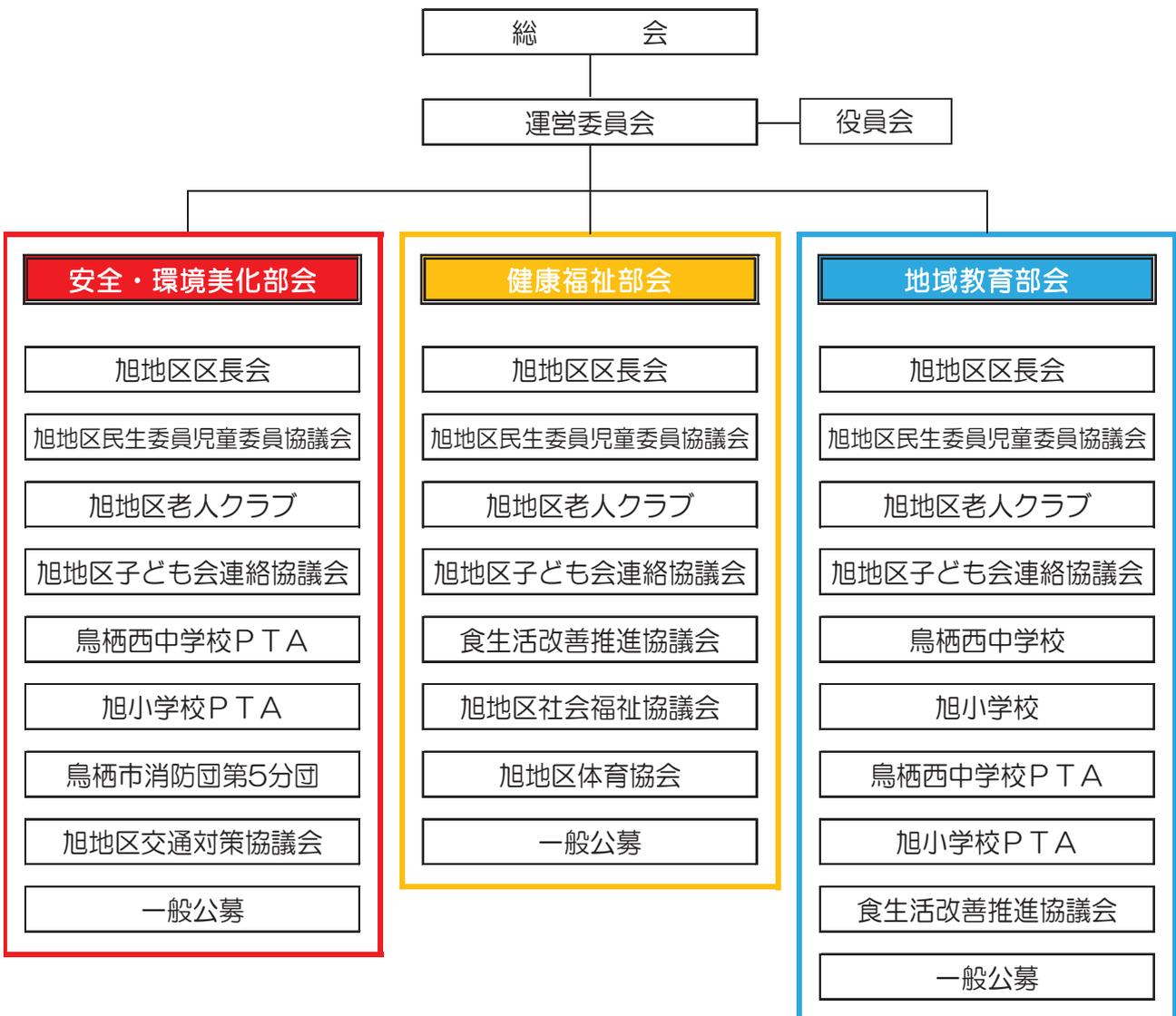
※ 重点事業

4 こうやって取り組んでいこう！ —まちづくりの推進体制—

旭地区まちづくり推進計画の推進は、現在の旭地区まちづくり推進協議会の組織を基本とします。

ただし、必要があれば、今後のまちづくり活動の進み具合に応じて、活動に適した組織の見直しを行います。

《旭地区まちづくり推進協議会組織図》



一 参考資料 一

まちづくり推進計画策定までの経過

《会議経過》

平成23年11月の設立総会以降、総会4回、役員会1回、策定委員会12回、運営委員会4回、専門部会10回、計31回の会議を実施した。

◆総会（規約制定・改廃、事業計画・事業報告、予算・決算、役員）

日程	会議名	会議内容
平成23年 11月4日	設立総会	規約、運営細則、運営体制、 事業計画 ・予算、役員
平成24年 5月22日	定期総会	事業報告、決算 規約改正、役員選出、事業計画、予算
9月26日	臨時総会	チャレンジ活動事業・補正予算
平成25年 5月23日	定期総会	事業報告、決算、役員選出、規約改正、事業計画、 予算、 まちづくり推進計画の承認

◆役員会（運営委員会付議事項、委員承認）※第2回以降は策定委員会と合同開催

◆策定委員会（計画骨子作成、運営委員会・専門部会からの意見集約）

日程	会議名	会議内容
平成23年 11月28日	第1回役員会	運営委員会・専門部会開催、 推進計画策定委員会設置 、一般公募の取扱い
12月26日	第1回策定委員会	推進計画作成 、スケジュール、 住民アンケート
平成24年 1月19日	第2回策定委員会	住民アンケート実施方法・内容の決定
3月9日	第3回策定委員会	住民アンケート結果の報告、意見交換
4月26日	第4回策定委員会	策定作業スケジュール、各団体の事業調査
6月28日	第5回策定委員会	主要課題、良い所整理、キーワード抽出 チャレンジ事業検討
8月2日	第6回策定委員会	主要課題、良い所まとめ、キーワード整理 チャレンジ事業検討
8月30日	第7回策定委員会	各部会の協議内容報告 チャレンジ事業案作成
10月24日	第8回策定委員会	チャレンジ事業実施方法の検討 推進計画骨子作成
11月21日	第9回策定委員会	チャレンジ事業最終確認 今後のスケジュール、部会の進め方
平成25年 1月31日	第10回策定委員会	交通安全ポスター・シンボルマーク優秀作品の決定 地区の将来像、まちづくり目標の決定
2月26日	第11回策定委員会	交通安全標語優秀作品・のぼり旗設置個所の決定 事業、スケジュールの決定

◆運営委員会（総会付議事項、企画運営・啓発、専門部会提案事項、細則改正）

日程	会議名	会議内容
平成23年 12月15日	第1回運営委員会	推進計画策定委員会設置の承認 平成23年度スケジュール
平成24年 5月22日	第2回運営委員会	細則改正、委員交代・決算・事業報告 平成24年度事業計画・予算案、規約改正案
12月12日	第3回運営委員会	チャレンジ事業決定 事業計画変更・補正予算案
平成25年 3月26日	第4回運営委員会	平成25年事業計画・予算案 まちづくり推進計画最終案の承認

◆専門部会

○安全・環境美化部会、健康福祉部会、地域教育部会

日程	会議名	会議内容
平成23年 12月15日	第1回専門部会	部会長、副部会長、庶務の選出 推進計画策定委員会委員の選出
平成24年 1月17日	第2回専門部会	住民アンケート実施方法 住民アンケート内容の検討
3月29日	第3回専門部会	住民アンケート結果の報告、意見交換 委員の推薦
7月17日	第4回専門部会	部会の役割決め、良い所、主要課題の抽出 推進計画の進め方説明
8月23日	第5回専門部会	チャレンジ事業意見交換 テーマ別事業の検討
10月16日	第6回専門部会	チャレンジ事業報告 テーマ別事業の検討
11月13日	第7回専門部会	チャレンジ事業（美化活動）役割分担 推進計画骨子の説明
平成25年 1月29日	第8回専門部会	交通安全ポスター、シンボルマークの選定 交通安全の日、危険個所の意見だし
2月19日	第9回専門部会	交通安全標語の選定 平成25年度事業計画の検討
3月19日	第10回専門部会	交通安全啓発のぼり旗設置 まちづくり推進計画最終確認



まちづくり推進計画策定委員会 委員名簿

(平成25年3月現在)

	役職	氏名	所属団体
1	会 長	成清 哲央	旭地区区長会
2	副 会 長	美濃 鷹嗣	旭地区区長会
3		古澤 文雄	旭地区民生委員児童委員協議会
4	会 計	平川千恵子	旭地区社会福祉協議会
5	事務局 長	西村 裕孝	旭地区公民館
6	安全・環境美化部会 部会長	原 武嗣	旭地区老人クラブ
7	安全・環境美化部会 副部会長	筑紫 廣志	鳥栖市消防団第5分団
8	健康福祉部会 部会長	西村 良一	旭地区体育協会
9	健康福祉部会員	岡 勝昭	旭地区民生委員児童委員協議会
10	地域教育部会 部会長	樋口伸一郎	旭小学校 PTA
11	地域教育部会 副部会長	前田 桂子	旭地区民生委員児童委員協議会
12	市派遣職員	石橋 哲文	鳥栖市役所
13		江寄 充伸	

※敬称略



渡邊精子さん作

≪表 紙≫ 北川アイ子さん
 ≪歴史寄稿≫ 藤瀬 禎博さん
 ≪挿し絵≫ 渡邊 精子さん
 ≪印刷≫ (有)久光印刷

☆旭地区シンボルマーク

	<p>最優秀賞作品 鳥栖西中学校 2年 白津 朋佳さん 「旭という漢字に旭地区にあるものを入れてみました。旭地区には団地がたくさんあるので家を入れてみました。旭の1画目で朝日山を、2画目で筑後川を表しました。日の色は夕やけをイメージしました。」</p>
<p>小学生部門優秀賞 旭小学校 2年 奥園結和さん 「山と川と新幹線が朝日に照らされているところを描きました。」</p> 	<p>中学生部門優秀賞 鳥栖西中学校 2年 岡崎 有咲さん 「旭という名前から連想される朝日をかいて名前を強調しました。山は朝日山をイメージして旭の頭文字のAを描きました。このマークを見て、自然豊かな旭を思い浮かべてほしいです。」</p> 

☆旭地区交通安全啓発ポスター

<p>小学生低学年部門最優秀賞</p>  <p>旭小学校 2年 奥園結和さん 「道に広がると危ないと思ったから。」</p>	<p>小学生中学年部門最優秀賞</p>  <p>旭小学校4年 保明凜太郎さん</p>
--	---

☆旭地区交通安全標語

最優秀賞
下野町 立石 静子さん
おとうさん
車の運転気をつけて
ぼくとわたしの通学路

<p>小学生高学年部門最優秀賞</p>  <p>旭小学校6年 鶴穂乃花さん</p>	<p>優秀賞 あさひ新町 成清 芳子さん 止まれるの メール見ながら 歩いてて</p>	<p>優秀賞 前田町 三宅 正文さん 安全は 家庭の平和も 守りぬく</p>	<p>優秀賞 儀徳町 岩橋 美智雄さん お父さん いつも元気で 帰ってね</p>
--	---	--	--



《編集・発行》

旭地区まちづくり推進協議会

平成25年8月発行

〒841-0066

鳥栖市儀徳町3155番地2

旭まちづくり推進センター内

TEL・FAX：0942-82-2603